

平成29年度 第5回三郷区地域協議会

次 第

日時：平成29年10月31日(火)午後6時30分～
会場：三郷地区公民館 集会室

1 開 会

2 議題等の確認

3 報告

- (1) 平成29年度地域活動支援事業の完了について (5分)

4 議題

- (1) 地域活動支援事業募集要項及び審査・採択の基本的なルールについて
(100分)

- (2) 三郷区の地域課題について (5分)

5 事務連絡

6 閉 会

平成29年度 地域活動支援事業実績報告【三郷区】

整理 No.	提案団体名	事業名
5	三郷体育振興会	三郷地区大運動会事業
9	三郷地区次世代活性化委員会	さんごう防災DAY事業

地域活動支援事業募集要項及び審査・採択のルールについて 意見一覧

(1) 募集要項について

No.	意見内容	提案者
1	P 1 ■実施方法 ～事業を提案できる方～ 「5人以上で構成し、市内で活動する法人又は団体（町内会組織等、但し、政治や宗教を目的とする法人等及び営利団体を除く。）」と、「町内会組織等」を追加する。	尾崎委員

(2) 審査・採択のルール、採点シートについて

No.	意見内容	提案者
1	基本審査と混同しやすいため、優先採択審査をなくす。	尾崎委員
2	採択にあたり、現地視察を行った方がよい。 (例えば、カーブミラー、グリーンラインなど、現地確認ができる提案について)	尾崎委員
3	昨年度の意見で、今年度検討することとしたもの	—
	○審査項目の配点は、①公益性と②必要性に重きを置く（配点を見直す）。	—
	採点は提案事業が審査基準を満たしていることを判断するためのものであることから、現行の審査方法のままでよい。	竹内副会長
	事業により、参加性が大きかったり、必要性が大きかったりするため、「公益性」「必要性」のみに重きを置くのは反対。また、細かくなると複雑になるため、今までどおりでよい。	保坂副会長
公益性9点、必要性8点、実現性3点、参加性2点、発展性3点、合計25点にする。	尾崎委員	

第4回三郷区地域協議会（H29.9.20）グループ討議要旨

【A班】

■人口減少

- ①三郷地区の人口減少が一番の問題。
- ②空き家が何軒もあり、町内によっては10年後にはかなり戸数が減り、あわせて人口も減る。
- ③田んぼ、畑をする方が極端に減り、荒地になる状況が各町内で多くなってきているため、三郷は耕地が平らなことから、空いている土地を宅地にして人口を増やす。
- ④長者町が三郷の中心部であるため、学校の児童を増やし、公民館がある場所に複合的な建物を持ってくれば、集落も広がっていく。
- ⑤宅地化するにしてもアピールが大事になる。他地域の皆さんに良い印象を与え、一度行こうかとなれば、三郷もかなり活性化し、魅力を感じてもらえるような地域になる。

【B班】

■公民館

- ①まずはトイレを改修してもらうことに力を入れていく。

■空き家

- ①三郷区には空き家が多いため、それを利用して人口の増加を図る。

■上越地域医療センター病院

- ①病院の移設の話があるそうだが、三郷として取り組むべきか。

■農業の担い手

- ①農業の担い手がないため、農業の公社化、集団化について今後考える。

■少子化

- ①小学校の問題について意見が出された。

■今後のグループ討議の方向性

- ①少子化、公民館、農業の問題について今後議論していく。